



和田裕貴さん
(中間インターハイツ)

本日は、私達のために成人の祝いを催して頂きありがとうございます。

この二十年という歳月は、私達や両親にとっても目まぐるしい変化の連続だったと思います。

私は今、県内の専門校で自動車の整備を目指し勉学に励む毎日を送っています。高校生活を終え、改めて自分が何をしたいのか考えた時、興味がわいたのが、自動車の整備でした。今では、その興味という形から将来の仕事として自分の力とすることを目標としています。成人を迎えた今、自分も社会の一員となるので社会人として精通し自覚を持ち自主の精神を持って自分の人生を歩んでいきたいと思っています。

私達が今日の日を迎えることができたのは、先生方、地域の皆様方や家族の支えによるものと感謝しております。本日は、どうもありがとうございました。



井川亜沙美さん (佐陀3部)

本日は私どものために、これほど多くの方々に祝福を賜りまして、大変光栄に思っております。

高校を卒業し、私は料理の勉をする為に大阪へ行きました。初めて親のもとから離れての生活が始まり、アルバイト等を通して少しずつ社会の中に入り、様々な困難にぶち当たりました。この時初めて成人になることに対する不安を感じました。それと同時に、今まで私の良き理解者である両親の大きさにも気付かされました。

こんな未熟者の私が言うのは大変恐縮ですが、成人式を機会に、もう一度「命」の大切さを考えてみてください。苦しさ、悔しさ、喜びを感じれるのも命あつての事だと私は思います。先行き不透明な時代ですが、本日の晴れがましい気持ちを忘れずに自分を磨いていけば、明るい未来が待っていると信じていこうと思います。本日は私達の晴れの舞台を見届けていただきまして、誠にありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

鉄尾幸子さん (2区)

本日はこのような素晴らしい成人式を開いていただき、ありがとうございます。仲間達とこうして再会し今日の日を迎えられたことを本当に嬉しく思います。

私は高校卒業して地元を出て、それまで気づかなかった事がたくさんあります。まず初めに気づいたのは、やはり家族の愛情です。どんなに甘えた事やわがママを言っても、いつでも真剣に受けとめてくれて論してくれるのは、親であり兄弟であり、家族の愛なんだなと実感しました。

今度は私が子供や年下の子にそういうものを与えていける大人になれるよう、努力しないとイケないと思います。

帰ってくればいつでも淀江の人達はみんな優しく受けとめてくれるので、みんなそれぞれ違う場所でそれぞれの人生を一生懸命頑張って、また再会できたら嬉しいなと心から思います。



手嶋健一さん (佐陀浜)

本日はこのような素晴らしい成人式を開いていただきありがとうございます。そしてこの20年間でお世話になったたくさんの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。特に自分を一番身近で見守ってくれた両親にありが

とうと言いたいです。

僕は今、広島で大学に通い建築の勉強をしています。まだまだ親に助けられ生活している身ではありますが、一人暮らしを始め、自分で考え行動することの自由とそれに対する責任も感じました。数年後、社会に出て貢献できるよう、この貴重な時間を大切に、いろいろな経験をしながら多くの事を学び、大人としてたくましく成長したいと思います。

自分を育ててくれた淀江町の誇りとし、共に育ってきた友人達を心の支えとして成長していきたいと思

